令和６年度
（第２次）

学 生 募 集 要 項

医科学専攻修士課程
障害科学専攻博士課程前期２年の課程
公衆衛生学専攻修士課程

出願受付期間	令和５年12月１日（金）～12月15日（金）	
入学試験	書類等審査	令和５年12月25日（月）～令和６年１月11日（木）までに志望する各分野にて実施
	筆記試験	令和６年１月18日（木）
合格者発表	令和６年２月８日（木）	
入学日	令和６年４月１日	

入学資格審査申請受付期間	令和５年11月１日（水）から11月８日（水）まで　※該当者のみ

東北大学大学院医学系研究科

令和５年（2023年）10月

アドミッション・ポリシー

【医学系研究科】

東北大学大学院医学系研究科は，医学系領域に関する高度な専門的知識・技能とそれらを支える旺盛な探求心並びに高い使命感・倫理観を有し，先進的，学際的及び創造的に医学系領域に関する諸問題の解決を具体的に推進しうる，国際的に通用する優れた研究者，高度職業人の育成を目指します。

具体的には，旺盛な探求心並びに高い使命感・倫理観に支えられた専門的知識と技能をもって，日本及び世界の人々の健康及び福祉の増進への寄与を目指し医学系領域の新たな発展に貢献する豊かな人間性を備えた研究者，高度職業人，または教育者を志す人を求めます。

このため，学生の受け入れにあたっては，一般選抜，社会人特別選抜（博士課程（医学履修課程）のみ）及び外国人留学生特別選抜（博士課程（医学履修課程）及び博士課程後期 3 年の課程のみ）に加えて，特別選抜（公衆衛生学専攻修士課程の一部のコースのみ）の枠を設けて入学試験を実施し，これらの教育理念・目標に沿った研究を行うために必要な高い能力と資質を備えているか否かを重視して選抜を行います。

医科学専攻

外部検定試験スコアによる英語力の評価，専門的知識・思考能力を評価する筆記試験及び基礎的学力・志望動機並びに適性を評価する書類等審査を行い，特に基礎医学分野並びに医科学関連分野の発展に貢献する研究者若しくは教育者を目指す人を重視して選抜を行います。大学卒業生相当の英語力，志望する専攻・分野に関連する基礎的な専門知識や思考能力，志望動機の具体性や修学に相応しい適性について，本研究科が定めた基準を上回ることが必要で，特に書類等審査の結果を重視して選抜します。

なお，入学前に基本となる専門的知識や英語力を身につけておくことを推奨します。

障害科学専攻

外部検定試験スコアによる英語力の評価，専門的知識・思考能力を評価する筆記試験及び基礎的学力・志望動機並びに適性を評価する書類等審査を行い，特に障害科学及びリハビリテーション関連領域における学問研究並びに社会実践に貢献する研究者・高度専門職若しくは教育者を目指す人を重視して選抜を行います。大学卒業生相当の英語力，志望する専攻・分野に関連する基礎的な専門知識や思考能力，志望動機の具体性や修学に相応しい適性について，本研究科が定めた基準を上回ることが必要で，特に書類等審査の結果を重視して選抜します。

なお，入学前に基本となる専門的知識や英語力を身につけておくことを推奨します。

保健学専攻

外部検定試験スコアによる英語力の評価，専門的知識・思考能力を評価する筆記試験及び基礎的学力・志望動機並びに適性を評価する書類等審査を行い，特に自立して研究活動を行い，看護学，放射線技術科学，又は検査技術科学に関する必要な能力を備え国際社会に貢献する研究者若しくは教育者を目指す人を重視して選抜を行います。大学卒業生相当の英語力，志望する専攻・分野に関連する基礎的な専門知識や思考能力，志望動機の具体性や修学に相応しい適性について，本研究科が定めた基準を上回ることが必要で，特に書類等審査の結果を重視して選抜します。

なお，入学前に基本となる専門的知識や英語力を身につけておくことを推奨します。

公衆衛生学専攻

一般選抜試験では，外部検定試験スコアによる英語力の評価，専門的知識・思考能力を評価する筆記試験及び基礎的学力・志望動機並びに適性を評価する書類等審査を行い，特に公衆衛生関連領域における学問研究並びに社会実践に貢献する研究者・高度専門職若しくは教育者を目指す人を重視して選抜を行います。大学卒業生相当の英語力，志望する専攻・分野に関連する基礎的な専門知識や思考能力，志望動機の具体性や修学に相応しい適性について，本研究科が定めた基準を上回ることが必要で，特に書類等審査の結果を重視して選抜します。

特別選抜試験では，認定遺伝カウンセラー認定試験を受けて認定遺伝カウンセラーの資格を取得し，東北地方の各大学・医療機関において，認定遺伝カウンセラーとして患者やクライエントに寄り添いながら遺伝カウンセリングを提供することが期待できる人を求めています。そのため，外部検定試験スコアによる英語力の評価，専門的知識・思考能力を評価する筆記試験及び基礎的学力・志望動機並びに適性を評価する書類等審査を行い，東北大学医学系研究科での修学を強く志望し，東北地方における遺伝子診療・遺伝カウンセリング体制整備に貢献することを目指す人を選抜します。大学卒業生相当の英語力，志望する分野に関連する基礎的な専門知識や思考能力，志望動機の具体性や修学に相応しい適性について，本研究科が定めた基準を上回ることが必要で，特に書類等審査の結果を重視して選抜します。

なお，入学前に基本となる専門的知識や英語力を身につけておくことを推奨します。

東北大学大学院医学系研究科修士課程及び博士課程前期 2 年の課程では，次の要領で学生を募集します。

1　専攻課程及び募集人員

専攻課程	募集人員
Ⅰ　医科学専攻　修士課程	若干人
Ⅱ　障害科学専攻 博士課程前期 2 年の課程	１９名程度
Ⅲ　公衆衛生学専攻　修士課程	若干人

2　コース

専　攻　課　程	コ　ー　ス
Ⅰ　医科学専攻修士課程	(1)一般コース
	(2)ヒューマンセキュリティ国際教育コース（英語による履修コース）
	(3) 量子生命・分子イメージング教育コース
	(4) 医学物理士養成コース
	(5)災害保健医療コース
	(6)Basic Medicine コース（英語による履修コース）
Ⅱ　障害科学専攻 博士課程前期 2 年の課程	(1)一般コース
Ⅲ　公衆衛生学専攻 修士課程	(1)一般コース
	(2)高度臨床研究支援・管理者育成コース
	(3)臨床研究管理医養成 1 年コース
	(4)公衆衛生・遺伝カウンセリングコース
	(5)医療・公衆衛生倫理指導者養成コース
	(6)災害保健医療マネジメントコース
	(7)ヒューマンセキュリティ国際教育コース（英語による履修コース）

※　教育・研究領域，分野，教育コース等については，「専門分野一覧」並びに東北大学大学院医学系研究科ウェブサイトに掲載の「分野一覧」を参照してください。

分野一覧　https://www.med.tohoku.ac.jp/laboratory/index

3　出　願　資　格

修士課程及び博士課程前期 2 年の課程に出願できるのは，次の各号のいずれかに該当する者です。

(1) 大学を卒業した者及び令和 6 年 3 月末日までに卒業見込みの者

(2)大学改革支援・学位授与機構より，学士の学位を授与された者及び令和 6 年 3 月末日までに授与見込みの者

(3) 外国において，学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 6 年 3 月末日までに修了見込みの者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより，当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 6 年 3 月末日までに修了見込みの者

(5) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和 6 年 3 月末日までに修了見込みの者

(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 6 年 3 月末日までに授与見込みの者

(7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 6 年 3 月末日までに修了見込みの者

(8) 文部科学大臣の指定した者

(9) 大学に 3 年以上在学した者，外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者，外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより，当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者又は我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で，本大学院において，所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの及び令和 6 年 3 月末日までに在学又は修了見込みの者で，本大学院において，所定の単位を優秀な成績で修得するものと認めたもの

(10) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって，本大学院において，その教育を受けるのにふさわしい学力があると認めたもの

(11) 本大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和 6 年 3 月末日までに 22 歳に達するもの

[注 1] 志望分野は第三希望まで登録することが可能（第一希望以外に配属を希望しない場合は，登録不要）ですが，志望分野の研究内容を十分に理解した上で，出願前に「全ての志望分野等」の指導教授に対して，受験を希望する旨を直接連絡し，出願に対する了承を得てください。

[注 2] 外国人の方は，事前に出願資格について医学部・医学系研究科教務課大学院教務係へ照会してください。（入学資格審査を必要とする場合があります。）

[注 3] 公衆衛生学専攻修士課程の「臨床研究管理医養成 1 年コース」に出願できる者は，上述の出願資格を満たすとともに，次の各号のいずれかに該当する者です。

(1) 医　師（臨床研修制度による臨床研修を終えていること。）

(2) 歯科医師（臨床研修制度による臨床研修を終えていること。）

［注 4］出願資格(1)，(9)及び(11)の「大学」とは，我が国における 4 年制大学を指します。

［注 5］出願資格(6)に該当する者については，事前に出身大学又は出身学校について，医学部・医学系研究科教務課大学院教務係で確認を受けてください。

a　確認受付期間　　令和 5 年 11 月 1 日（水）から 11 月 8 日（水）まで

b　確認を希望する者は，下記 URL に掲載の必要書類を揃え，医学部・医学系研究科教務課大学院教務係へ提出してください。

入学資格審査等申請関係　https://www.med.tohoku.ac.jp/admission/grad/applicant/

［注 6］出願資格(9)，(10)又は(11)に該当する者については，　出願する前に，入学資格の審査を受け，その結果に基づき出願してください。

a　入学資格審査申請受付期間　　令和 5 年 11 月 1 日（水）から 11 月 8 日（水）まで

b　入学資格審査申請を希望する者は，下記 URL に掲載の必要書類を揃え，医学部・医学系研究科教務課大学院教務係へ提出してください。

入学資格審査等申請関係　https://www.med.tohoku.ac.jp/admission/grad/applicant/

4　出　願　手　続

(1)　インターネット出願

出願者は，オンライン出願システム The Admissions Office（以降は TAO と表記）を使って，出願期間内に出願手続を行ってください。出願のおおまかな流れは，次のとおりです。

1　募集要項の確認・必要書類の取得

・本募集要項で，出願資格（４、５ページ）や出願に必要な書類（７～９ページ）等をよく確認してください。

・出願書類の「卒業（見込）証明書」，「成績証明書」等の証明書類は，事前に在籍（出身）大学等に発行を依頼してください。

2　検定料の支払い

・本募集要項７ページの指示に従い，ＡＴＭ(金融機関，コンビニエンスストア)やインターネットバンキング等をご利用のうえ，指定された銀行口座に振り込んでください。支払う際には所定の手数料がかかります（志願者負担）。

・振込後，ＡＴＭの利用明細，インターネットバンキングの振込完了画面等，振込先口座情報，金額，振込日，振込依頼人名等がわかるものを PDF 又は画像データに変換し，TAO の出願登録サイトでアップロードしてください。

【注】出願登録，または検定料の納入のみだけでは，出願したことになりません。

3　TAO 出願登録サイトで出願登録

・TAO にアクセスし，アカウント作成後，志願者の情報等の必要事項を入力してください。
https://admissions-office.net/

・証明書等のアップロードも出願登録時に行います。

・**登録後は，登録した内容を変更できません**。登録するときは，誤りのないように，確認しながら慎重に行ってください。

・一時保存の機能がありますので，確認などに有効に利用してください。

出願手続は，検定料の納入を経て，インターネット上で出願情報を登録することで完了します。
検定料納入，またはインターネット上での出願情報の登録のみだけでは出願手続が完了しませんので，注意してください。
また，出願期間内に，９ページ記載の「英語のスコアシート」を提出してください。

(2)　出願期間

令和 5 年 12 月 1 日（金）から 12 月 15 日（金）【締切厳守】

(3)　問合せ・出願書類送付先

〒980－8575　仙台市青葉区星陵町２番１号
東北大学医学部・医学系研究科教務課大学院教務係　　TEL（022）717－8010
e-mail：m-daigakuin@grp.tohoku.ac.jp

(4)　出願書類等

●出願登録サイトでの志願者情報の入力・登録

必要書類等	摘　　要
写　真　デ　ー　タ	志願者本人の写真を TAO の出願登録サイトでアップロードしてください。 ＊出願前３か月以内に撮影した上半身無帽，正面向きであること ＊使用できるデータは，jpeg 又は png 形式のもので，100KB～5MB のサイズのものに限ります
成　績　証　明　書	出身大学（学部）長が作成したもの。 PDF 又は画像データに変換し，TAO の出願登録サイトでアップロードしてください。 ＊本学医学部出身者は，本学の証明書に限り提出不要です。
卒業（見込）証明書等	卒業（見込）証明書又は大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書若しくは短期大学長又は高等専門学校長の学位授与申請（予定）証明書を PDF 又は画像データに変換し，TAO の出願登録サイトでアップロードしてください。 ＊本学医学部出身者は提出不要です。
受　験　情　報　届	TAO 出願登録サイトの記載内容を確認し，誓約日及び名前等の必要事項を入力してください。
在留カードの写し（外国人留学生のみ）	出願の時点で，本邦に在留している外国人で入学を志願する者（在留期間が 90 日を超える者）は，在留カード（表面，裏面とも）を PDF 又は画像データに変換し，TAO の出願登録サイトでアップロードしてください。
検　　定　　料	入学検定料　３０，０００円 検定料は，ＡＴＭ(金融機関，コンビニエンスストア)やインターネットバンキング等をご利用のうえ，下記銀行口座に振り込んでください。 ※　振込依頼人名は，必ず出願者本人のカナ氏名を登録してください。 ※　振込手数料については，出願者本人負担となります。 金　　額：３０，０００円 納入期限：１２月１５日(金)【期限厳守】 銀　　行：三菱ＵＦＪ銀行 銀行コード：０００５ 支　　店：わかたけ支店 支店コード　：８０９ 預金種別：普通 口座番号：２２５９１３１ 口座名義：国立大学法人東北大学 カ　　ナ：ﾀﾞｲ)ﾄｳﾎｸﾀﾞｲｶﾞｸ ①　国費外国人留学生は，納付不要です。

	②　令和５年度（2023 年度）に発生した風水害等の災害により被災した受験者に対して，入学検定料免除の特別措置を講じます。該当する者は，手続きをしてください。免除の手続きをする者は，入学検定料の支払いは不要です。 https://www.tnc.tohoku.ac.jp/exempt.php ③　海外在住の方で，検定料を納付することが困難な場合は，クレジットカードでの支払いが可能ですので，出願前に本研究科大学院教務係までお問い合わせください。
検定料納付確認	振込後，ＡＴＭの利用明細，インターネットバンキングの振込完了画面等，振込先口座情報，金額，振込日，振込依頼人名等がわかるものを PDF 又は画像データに変換し，TAO の出願登録サイトでアップロードしてください。 ①　国費外国人留学生は，提出不要です。 ②　検定料免除の手続きをする者は，検定料納付確認書の提出は不要です。

●提出書類等

必要書類等	摘　　要
志望の動機・理由と抱負について	本研究科所定の用紙（本研究科ウェブサイトよりダウンロード） ＊1,000 字程度 各分野にて実施する書類等審査（令和５年 12 月 25 日（月）～令和６年１月 11 日（木））の前に，「志望分野等」の指導教授に提出してください。
学歴・職歴・研究歴等	出願書類データ PDF（TAO よりダウンロード）※圧縮ファイルが出力されるので、各自解凍の上、フォルダより学歴、職歴、研究歴ファイルを取り出し、使用すること。各分野にて実施する書類等審査（令和５年 12 月 25 日（月）～令和６年１月 11 日（木））の前に，TAO から出力して，「志望分野等」の指導教授に提出してください。

英語のスコアシート （＊ 外国語(英語)の成績評価を TOEIC®，TOEFL®， IELTS，又は Duolingo English Test，のいずれかの成績で行います。） 12 月 15 日(金)必着	令和 3 年 12 月 1 日以降に受験した TOEIC® Listening & Reading Test，TOEFL iBT®，TOEFL iBT® Home Edition，IELTS ペーパー版，IELTS コンピューター版又は Duolingo English Test のいずれかのスコアを証明する書類（スコアシート）を(3)問合せ・出願書類送付先に提出すること。 ＊ TOEIC®は，2023 年 4 月以降に実施するテストのスコアは、デジタル公式認定証の PDF を TAO の出願登録サイトにアップロード、2023 年 3 月以前に実施したテストのスコアは公式認定書のオリジナルを提出すること。 ＊ 団体受験用の TOEFL ITP®及び TOEIC IP®は認めません。 ＊ TOEFL®は，Test Taker Score Report（受験者用控えスコアレポート）または Official Score Report（公式スコアレポート）のオリジナルを提出すること。 ＊TOEFL iBT®のスコアシートを送付する際のＤＩコードは，「３３３２」です。 ＊ IELTS は，IELTS 公式の成績証明書（Test Report Form）のオリジナルを提出すること。 ＊ Duolingo English Test は受験後，出願先の学校を選択するように通知されるので，本研究科を選択してください。成績判定まで時間を要し，テストが認定されない場合がありますので，余裕をもって受験すること。 ＊ 一度提出されたスコアシートは原則返却しませんが，TOEFL® [受験者用控えスコア票]に限り，出願時に申し出があれば後日返却します。 ＊ 出願時における複数のスコアシートの提出を認めますが，一度提出したスコアシートの差替え等は一切認めません。 ＊ 出願期間までにスコアシート（原本）の提出が難しい場合には，インターネット表示等によるテスト結果のコピーを提出し，後日スコアシートと差し替えることを認めます。ただし，提出したテスト結果のコピーと同内容のものに限ることとし，高得点のテスト結果と差し替えることはできません。 ※TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP 及び TOEIC はエデュケーショナル テスティング サービス（ETS）の登録商標です。

(5) 注意事項

① 入力・登録すべき事項の記入もれ，その他不備のある場合は，受け付けませんので注意してください。

② 出願書類に虚偽の申告及び入学手続き時に原本確認が行えなかった場合は，合格の取り消しまたは入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

③ 入学前に重大な不祥事を起こした場合は，合格の取り消しまたは入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

④ 検定料は，事由のいかんにかかわらず返還しません。

⑤ 入学資格審査の判定結果により出願資格を有すると認定された者は，通知書を PDF 又は画像データに変換し，TAO の出願登録サイトでアップロードしてください。

⑥ 受付後の出願取下げ及び出願書類の記載内容の変更は認めません。

5 選 考 方 法

(1) 入学者の選考は，書類等審査，筆記試験及び TOEIC®，TOEFL®，IELTS 等の英語外部試験の成績を総合して行います。

書類等審査では，基礎的学力・志望動機並びに適性を評価します。

(2) 試験の日時及び科目

区　　分	試 験 内 容

書類等審査	令和 5 年 12 月 25 日（月）～令和 6 年 1 月 11 日（木）までに志望する各分野にて実施
筆記試験	小　論　文 令和 6 年 1 月 18 日（木）１１：００～１２：００ （会場：星陵キャンパス）

※　書類等審査は，出願後，志望する各分野において適宜実施します。試験日時・内容等詳細については，分野一覧などにより連絡先を確認し，12 月 25 日（月）以降に各自，志望分野に照会してください。

分野一覧　https://www.med.tohoku.ac.jp/laboratory/index

※　筆記試験の集合時間等詳細については，後日連絡します。

(3) 外国語（英語）の成績評価

出願時に提出された成績を一般的な方法により換算し，得点を算出します。複数の成績を提出した場合，換算後の得点で最も高いものを採用します。

(4) 分野・コースの配属について

分野・コース（以下分野等と言う。）毎の募集人員は定めていませんが，各分野等において受け入れできる学生数に限度があるため，特定の分野等に希望者が集中した場合は，入試成績順により配属を決定します。第一希望の志望分野等に配属されない場合に，他の分野等に配属を希望する者は，第二，第三希望を登録してください。（第一希望以外に配属を希望しない場合は，登録不要です。）

なお，第二，第三希望の登録が，第一希望の志望分野等への配属に影響することはありません。

6　試　験　場

東北大学医学部・医学系研究科（星陵キャンパス）において実施します。詳細は後日連絡します。

当日の受付において，発熱，咽頭痛，倦怠感，あるいは味覚嗅覚異常等の体調に異変がある方は，来学されても入場できませんのでご留意ください。

※　海外在住の受験者には，筆記試験をオンラインで行います。

7　合格者発表及び入学手続

(1) 合格者の受験番号を令和 6 年 2 月 8 日（木）午前 10 時頃に，ウェブサイトに発表するとともに，合格者に対して「合格通知書」を TAO にて交付します。なお，電話やメール等による入学試験結果の問い合わせには応じられません。

(2) 合格者には，令和 6 年 3 月上旬に入学手続に関する書類を郵送します。
入学手続には，成績証明書，卒業証明書等の原本提出が必要となります。

(3) 必要経費は次のとおりです。

①　入学料　　282,000 円（予定額）

② 授業料前期分　　267,900 円（年額　535,800 円）（予定額）

注 1. 上記の納付金額は予定額であり，納付金の改定が行われた場合には，改定時から新しい納付金額が適用となります。

注 2. 入学料及び授業料の免除，徴収猶予等に関しては，合格発表後に送付する入学手続に関する書類でお知らせします。

(4) 在職のまま入学する者については，入学手続の際に，入学に関する所属長の承諾書を提出する必要があります。

(5) 留学生が「留学」の在留資格を得て日本に滞在するためには，仙台出入国在留管理局（入管）に在留資格認定証明書(COE)交付申請書を提出する必要があります。入管における審査期間は通常 1～3 か月となりますので，「合格通知書」を受け取ったら，すぐ手続きを進めてください。

(6) 入学日は，令和 6 年 4 月 1 日です。

8　その他

(1) 過去の入学試験問題は，教務課窓口で閲覧することができますが，問題の持ち出しや複写はできません。また，公開する問題は，前年度の 1 回分のみであり，試験内容や出題方法等を約束するものではありません。

遠方にお住まいの場合は，メールでの送付対応を行っております。閲覧を希望する課程・専攻を明記の上，医学部・医学系研究科教務課大学院教務係にご連絡ください。

(2) 個人情報の取扱いについて

1）本学が保有する個人情報は，「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号)」 等の法令を遵守するとともに，「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき厳密に取り扱い，個人情報保護に万全を期しています。

2）入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は，入学者選抜の選抜，入学手続，入学前教育，追跡調査等，入学後の学生支援関係（奨学・授業料免除及び健康管理等），修学指導等の教育目的及び授業料徴収等の関係，並びに調査・研究（入試の改善や志望動向の調査・分析等。入学者については、入学後の個人情報と併せて分析することを含みます。）に利用します。

3）入試・教務関係の業務については，本学から業務委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）が行うことがあります。業務委託に当たって個人情報の全部又は一部を委託業者に提供する場合には，「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき，適切な取扱いがなされるよう、必要な措置を講じます。

4）本学大学院医学系研究科に出願した方は，上記の記載内容に同意したものとみなします。

(3) 受験及び修学上の配慮を必要とする方は，事前に医学部・医学系研究科教務課大学院教務係に相談の上，申請用紙を請求し，令和 5 年 11 月 1 日（水）から 11 月 8 日（水）までに提出してください。

なお，申請の内容について，詳しい状況を確認させていただく場合があります。所定の期日を過ぎてから申し出があった場合や，相談の内容によっては対応できないことがありますので，可能な限り早めに申し出願います。

東北大学大学院医学系研究科

〒980-8575　仙台市青葉区星陵町 2 番 1 号

TEL （022）717－8010

e-mail：m-daigakuin@grp.tohoku.ac.jp

（東北大学医学部・医学系研究科教務課大学院教務係）

入　学　案　内

1. 目的及び使命

Ⅰ　医科学専攻修士課程

医科学系分野の研究者・教育者の養成と医科学的専門知識を兼ね備え，医科学系分野の産業分野に応えうる人材の育成を目的としています。

Ⅱ　障害科学専攻博士課程前期 2 年の課程

体育系，文系，工学系など医学系以外の専門領域修了者については，国際貢献のできる研究者，教員，行政官等の人材の育成を目的としています。また，理学療法士，作業療法士，言語聴覚士等の医療関連従事者については，医療関連職種の大学院教育を担当できる教員，あるいは専門的な医学的リハビリテーションを行いうる指導的人材の養成を目的としています。

Ⅲ　保健学専攻博士課程前期 2 年の課程【※今回は学生募集はありません】

保健学に関する世界的水準の研究教育拠点を形成し，高度先進福祉社会の実現による人間の権利としての健康の保持･増進への貢献を目指します。そのため，保健学の研究者・教育者及び高度医療専門職業人の養成を目的としています。

Ⅳ　公衆衛生学専攻修士課程

世界最高基準の公衆衛生学の教育研究拠点を形成し，日本及び世界の人々の健康及び福祉の増進への貢献を目指します。公衆衛生の素養と高度な専門性及び高い職業倫理観を有する研究者をはじめ，指導者及び実践者の育成，特に公衆衛生学における最先端の融合的研究者の養成を目的としています。

2. 修了要件及び学位

修士課程または前期 2 年の課程を修了するためには，同課程に 2 年以上在学し，所定の授業を履修し 30 単位以上を修得のうえ，かつ，必要な研究指導を受け，修士論文（または課題研究）の審査及び最終試験に合格する必要があります。本課程修了時には以下の学位が授与されます。

Ⅰ	医科学専攻修士課程	修士（医科学）
Ⅱ	障害科学専攻博士課程前期 2 年の課程	修士（障害科学）
Ⅲ	保健学専攻博士課程前期 2 年の課程	
	看護学コース	修士（看護学）
	放射線技術科学コース	修士（保健学）
	検査技術科学コース	修士（保健学）
Ⅳ	公衆衛生学専攻修士課程	修士（公衆衛生学）

3. 研究指導

修士課程及び前期 2 年の課程の入学者に対しては，所属する分野等の研究テーマに従い研究指導が行われます。各分野等の研究テーマは，東北大学大学院医学系研究科ウェブサイトの【分野一覧】を参照してください。

分野一覧　https://www.med.tohoku.ac.jp/laboratory/index

（注）「専門分野一覧」で「※」を付している分野等は，今回は学生募集を行いません。不明な点は教務課大学院教務係に照会してください。

4. 入学料・授業料の免除

(1) 入学料の免除

特別な事情により，納付が著しく困難であると認められる場合には，本人の申請に基づき，入学料の全額または半額を免除することがあります。

(2) 授業料の免除

経済的理由によって，納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる場合には，本人の申請に基づき，授業料の全額，または一部の額を免除することがあります。

詳細は，本学ウェブサイト（https://www2.he.tohoku.ac.jp/menjo/）にて確認してください。

5. 長期履修学生制度について

本研究科では，職業を有している等の事情［注 1］により，標準修業年限である 2 年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了する［注 2］ことを願い出た者については，審査の上それを許可することがあります。この制度の適用者を「長期履修学生」といい，当該学生の授業料総支払額は，標準修業年限による修了者と同額になります。

［注 1］該当者：① 企業等の常勤の職員及び自ら事業を行っている者
② 出産，育児，介護等を行う必要のある者
③ 専門研修医であること
④ その他本研究科が適当と認める者

［注 2］在学年限は 4 年を超えることはできませんが，許可された在学年限の短縮を願い出ることはできますので，長期履修を考えている方は，なるべく入学時から開始できるよう，早めに指導教員と相談することをお勧めします。

［注 3］短縮の際は，授業料が再計算されます。なお，長期履修学生のためのカリキュラムは，原則として特別に用意しません。

［注 4］長期履修学生制度利用の開始時期は 4 月または 10 月からとなります。長期履修学生制度に関する詳細は，入学手続に関する書類でお知らせしますが，下記ウェブサイトからも確認できます。

社会人入学Q＆A（長期履修制度とは）
https://www.med.tohoku.ac.jp/wp-content/uploads/2021/10/qa210426.pdf

6. 各専攻の紹介

Ⅰ　医科学専攻修士課程の紹介

専攻の特色

我が国そして国際社会の医学・医療諸分野の発展に貢献できる研究者・教育者の育成と，健康で安全・安心な社会の実現に貢献する医学系高度専門職業人の育成を目標としています。この目標に応えるために，高潔な倫理観のもと，医学に関わる幅広い知識を持ち，自由な発想力から新しい医学・医療分野を開拓できる実践的技術を備えた人材の育成に取り組んでいます。特に，医学・医療系学部以外の出身者であっても，それまでの知識・技術を活かしつつ医学・医療諸分野の基本的知識を身につけ，それを発展させることが可能な教育課程を編成しています。

(1) 一般コース

コースの特色

医学系研究科に所属する多くの教員より指導を受けることが可能です。医学系研究科には，医学・医療に関わるあらゆる分野の教員が在籍しています。そのような教員から医学的な視点で問題解決法を学び，学部教育で学んだことを医学・医療へ展開することが可能です。多角的な視点から医学を俯瞰できるように，論文指導は複数の教員が担当することも特色です。

授業の内容

多様な講義科目を開講し，学部教育レベルに応じて講義・実習を開始できるようにカリキュラムを設定しています。また，基礎医学・社会医学・臨床医学の専門家による講義により現在の医学の課題が提示されています。また，ローテーション実習・インターンシップ実習による幅広い技術獲得，中間審査による修士論文研究の進捗確認を行うことでスムーズな学位取得が行われています。

修了後の進路

・医学系研究科博士課程（医学履修課程）への進学
・医療･製薬･食品関連企業，医療機器開発企業，官公庁（特に医療系）など
・職種としては，医学・薬学研究者，製薬企業での創薬開発・医薬情報担当者，食品企業での製品開発・管理担当者など

(2) ヒューマンセキュリティ国際教育コース（英語による履修コース）

コースの特色

1990 年代初頭に冷戦が終結して以降，従来の「国家安全保障」の考え方に代わって，疾病，災害，貧困，紛争など人々の安全への脅威に対する取組みを重視する「ヒューマンセキュリティ」（人間の安全保障）の考え方が，新しい国際社会を構築するキー概念として注目されるようになりました。とりわけアジア地域をはじめとする開発途上国の国々では，貧困，災害，劣悪な環境衛生と栄養障害などを背景に，今なおたくさんの人々が，本来死ななくてすむはずの傷病によって生命と尊厳を脅かされています。また，感染症や環境汚染は国境を越えて人々の暮らしと安全を脅すようになりました。21 世紀の国際社会が直面するこれらインセキュリティの実体はきわめて複合的な要因によってもたらされており，従来の専門知の壁を超えた複合的な視点で問題解決に向けた取り組みを推進できる新しいリーダーを必要としています。

医科学専攻修士課程「ヒューマンセキュリティ国際教育コース（ヒューマンセキュリティと健康)」では，医科学と国際保健学の最新知見に人文・社会科学の方法論を統合することによって，人々のいのちと健康を脅かしている要因の構造を理解し解決する能力を育て，日本と国際社会において政策や地域社会のリーダーとしてヒューマンセキュリティの実現に貢献できる専門的職業人と研究者の育成をめざします。

同コースは，「ヒューマンセキュリティ連携国際教育プログラム」の枠組みに沿って農学研究科，環境科学研究科，国際文化研究科が英語で提供する共通科目を履修でき，また,必修科目はすべて英語で履修します。

授業の内容

連携する 4 研究科合同で提供する「ヒューマンセキュリティ演習 A・B」の必修科目の他に，ヒューマンセキュリティとグローバルヘルス，感染症とヒューマンセキュリティ，医学研究方法論といった必修科目を提供します。全ての授業を英語で実施し，英語のみで修了単位を修得できるカリキュラム構成となっています。

修了後の主な進路

・医学系研究科博士課程（医学履修課程）への進学
・各国の国際保健医療行政担当者

(3) 量子生命・分子イメージング教育コース

コースの特色

分子イメージング（Molecular imaging）とは，生物が生きた状態のままで外部から生体内の遺伝子やタンパク質などの様々な分野の挙動を観察する技術で，医学，薬学，工学の新しい境界･複合領域です。Positron Emission Tomography（PET），Magnetic resonance imaging（MRI），Optical imaging などの手法が用いられています。分子イメージングは，これまで，静的，定性的にしか判断できなかった生体内の変化を，分子レベルで可視化することにより動的，定量的に捉えることを可能とするもので，癌やアルツハイマー病などの認知症の超早期診断が可能になる技術として大きな期待が寄せられています。また，最近では分子イメージングによる画像診断と一体化した分子治療技術（セラノスティクス）の開発と臨床応用も進んでいます。

分子イメージングは，超早期診断法として確立するには工学領域での機器開発，薬学領域での分子プローブの開発，医歯学領域での診断法の開発等様々な研究課題があります。

医科学専攻修士課程「量子生命・分子イメージング教育コース」プログラムは，これらの最新科学を利用した診断技術を開発するため，放射線医学，核医学，薬理学，腫瘍医学，精神医学など最新医学だけでなく，さらに薬学，工学，歯学との領域からの学際的アプローチを加味して，人材が不足している分子バイオ・イメージングに関する研究と教育を行います。また，量子科学技術開発機構（QST）量子医科学研究所（旧：放射線医学総合研究所）との連携プログラムもあります。

授業の内容

一般コースと同様に，医療倫理学，研究企画演習，ローテーション実習，インターンシップ実習科目，中間審査，論文研究を必修としています。更に本コースでは，分子イメージング概論Ⅰ，Ⅱを必修とするとともに，分子医科学プログラム科目を提供しています。

修了後の主な進路

・医学系研究科博士課程（医学履修課程）への進学
・医療･製薬･食品関連企業，医療機器開発企業，官公庁（特に医療系）など
・大学病院，公立病院など

(4) 医学物理士養成コース

コースの特色

普及の進む高精度放射線治療では、医学物理士等、精度管理を専任で行う常勤の担当者が必要とされており、本コースでは、放射線治療施設で放射線治療装置ならびに放射線治療の適切な精度管理ができる医学物理士の養成を行います。また、放射線治療に関する医学物理についての研究、学会活動、論文報告等も行う能力を身に付けられる人材を養成します。本コースでは、医学部保健学科放射線技術科学専攻及び理工学部卒業者を対象に，系統講義履修に加え，実習コースも併せて履修することで，研究，後進の教育の素養を持ち，がん診療に携わる他職種，他専門領域とのチーム医療が実践できる医学物理士の養成を目標としています。

また、サブコースとして、１段階目の医学物理士に認定後に、核医学治療における線量計算などを担える、核医学専門物理士を将来的に目指すコースを用意しています。核医学専門物理士養成サブコースを希望する

場合は、サブコース名を入学願書の所定欄に記入してください。

授業の内容

保健学科出身者には理工系の科目履修，理工系学科出身者には医学・保健学系の科目履修が必須となります。修了時には両系出身者が同等の内容を修められる科目群となっています。

修了後の進路

・医学物理士として大学病院，公立病院など
・大学教員
・医学系研究科博士課程（医学履修課程，後期 3 年の課程）または他専攻への進学

＊本コースは、現在申請中の文部科学省大学教育再生戦略推進費次世代のがんプロフェッショナル養成プランに対応したコースとなっており、開始は令和 6 年度からとなります。

(5) 災害保健医療コース

コースの特色

様々な災害において，急性期から慢性期までのあらゆるフェーズにおいて専門性の高い医療が求められています。本コースでは，看護師，薬剤師，その他の医療職（医療関連行政職，病院職員など）の資格あるいは従事経験のある者を対象として，実効的医療対応をチームの一員として活躍できるだけでなく，災害科学や医学の視点から災害に科学的に対応できる人材を養成します。そして，コース修了時には，慢性期の医療保健対応や災害復興フェーズの事象をテーマとして，自身の専門性に応じた医歯学あるいは保健学の研究を企画発案できることを目標とします。

授業の内容

災害保健医療セミナー，災害保健医療トレーニング及び災害科学概論論を必修科目として，災害医療全般にわたる座学講義と実習を履修するほか，選択科目として，災害医学特論や一般的な医科学科目を履修します。

修了後の進路

・修了者の専門性（看護師，薬剤師など）に応じたキャリアップ
・医学系研究科博士課程（医学履修課程）への進学，または医療機関に就職して，臨床研究を実施する。

(6) Basic Medicine コース（英語による履修コース）

Course Features

The purpose of this course is instructions of fundamental knowledge and skills of medicine and medical sciences.

Education including every lecture and direction of thesis is conducted in English.

Many lecturers belong to Graduate School of Medicine. Their professional territories cover all aspect of medical research. They instruct students how to learn problem solution approaches through the position of medicine, as well as to expand what students have learned to medical field. Two professors are assigned for thesis advisers for developing diversified mindset.

Contents of Education

Education of this course is comprised of two parts, lectures (including classroom lectures and practical training) and writing a thesis.

At classroom, students learn basic medical knowledge and technique. At practical training, students are able to visit different laboratories to learn more about method for medical research. There are chances to present research results at the midpoint to take advises.

Career Plans after Graduation

- Advancement to doctoral course
- Company related to medical service, drug discovery, food. Public office, especially related to medicine.
- Researchers about medicine or pharmacology. Developers or person in charge of quality control at pharmaceutical company, food company etc.

Ⅱ　障害科学専攻博士課程前期 2 年の課程の紹介

専攻の特色

わが国においては，世界に例を見ない勢いで少子高齢化が進んでいます。まず，高齢化に伴い，要介護高齢者は増加を続けており，認知症やてんかんを代表とするさまざまな水準の脳機能障害，脳血管障害・運動器障害による肢体不自由，糖尿病，虚血性心疾患，慢性腎障害などの内部障害が増加しています。次に，中年期においても，経済活動の停滞や雇用環境の不安定化による所得格差に起因し，ストレス関連疾患が増加しています。更に，わが国の未来を担う若年者において問題は更に複雑であり，不登校，引きこもり，摂食障害，機能性消化管障害が社会問題化しています。このように，現代日本の抱える健康問題は，多様化・複雑化しており，世界が日本の独創的対応に着目していると言って過言ではありません。

これらの問題を科学的に分析し，適切な身体運動プログラム，根拠に基づく心身医学的方法，女性が安心して妊娠・出産・分娩できるシステム，伝統文化の中にあるプログラムの科学的根拠，新たなリハビリテーション法開発など，これらをこれまで以上に示すことは世界の要請です。問題化する障害を克服し，障害に対する偏見を除去し，国民の健康レベルを増進させることは，社会の活力の維持という点でも社会保障負担の適正化という点でも欠かせない課題です。これらの活動は個人個人の単発のものに帰せられるものではなく，健康・疾病・障害の専門知識と技能を持つ人材が社会の要所で活躍することによって初めて実現するものです。即ち，障害科学領域において，これまで以上に国際レベルの高度な専門性をもった人材を養成することが，何よりも求められています。

本専攻では運動学，行動医学，生体工学，神経科学，神経心理学，てんかん学，バイオメカトロニクスなど，基礎と臨床を一体化しながら，幅広い学問領域の教育･研究を行っています。また，リハビリテーション医学の概念を一新する活動を実施しています。

本専攻の特色は，以下のような学生に医学の中の障害科学に関する大学院教育をすることにあります。

① 薬学，生命科学，農学，工学，保健学，看護学，栄養学，心理学，教育学，体育学などの専門領域修了者。理系から文系まで幅広く歓迎します。

② 理学療法士，作業療法士，言語聴覚士，臨床検査技師，看護師等の医療関連従事者及び臨床心理士，医療心理士，音楽療法士等。また，公認心理師の受験要件を満たし，その知識に医学・医療の知識を補強したい人を歓迎します。

本専攻は，平成 6 年に設置され，国内大学院医学系研究科における障害科学に関するオンリーワンの専攻として，各研究教育機関，官公庁，企業に採用される多くの人材を輩出して来ました。その理由は，本専攻の各分野が，当該領域において世界有数の他にない研究を実施しており，本専攻で学んだ修了生が真に研究し分析する意欲と能力を獲得したからに他なりません。

本専攻は，新しい障害科学とリハビリテーションに関する医療や教育に従事するために必要な能力を備え，国際社会に貢献することができる人材を育成します。また，これらの領域に精通した研究者･教員･行政官，専門的リハビリテーションを行いうる指導的人材，これらの領域を企業活動に応用できる人材を養成します。専攻の研究活動を通じ，自立して継続的に研究活動を行う研究者の育成に力を入れています。

平成 28 年度からは，協力体制を強化し，医科学専攻に協力講座を増設しました。また，本学教育学研究科との連携により「リハビリテーション心理学分野」を，国立病院機構仙台西多賀病院に連携講座「高齢者認知・運動機能障害学講座　高齢者認知・運動機能障害学分野」，宮城県立こども病院の「先進成育医学講座」に「小児包括リハビリテーション医学分野」を設置し，広い領域の教育が受けられるようになりました。

授業内容

運動学，行動医学，肢体不自由学，てんかん学，内部障害学，高次機能障害学，胎児病態学等の概論･実習等

修了後の主な進路

社会的ニーズと障害科学に的を絞った世界的にユニークな研究が良く合致するため，修了生の就職状況は良好です。多くの先輩が国内外の企業，大学や研究所など様々な分野で華々しく活躍しています。

・障害科学の研究者
・障害科学の教育・指導者
・神経科学・医科学などの研究者
・医療関連職種（理学療法士，作業療法士，臨床検査技師，看護師など）の 4 年制大学教員や指導的医療職
・障害科学の専門的知識を有する行政官
・製薬企業，一般企業，公務員

Ⅲ　保健学専攻博士課程前期 2 年の課程の紹介　【※第 2 次募集では学生募集を行いません。】

専攻の特色

高度専門職業人，教育者･研究者を目指す学生を受け入れています。保健学科の卒業生はもちろん，他学科出身の学生も受け入れています。

社会人学生に対して長期履修制度，夜間の講義，セミナーの開講など配慮しており，多くの社会人学生が学んでいます。医療短大などの卒業生で社会人の経験がある方には，大学院受験に先ず事前審査で受験資格を得る方法もあります。

保健学専攻は教育カリキュラムによって三つのコースに分かれています。

修了要件は修士論文などの作成（論文研究など）の必修科目及び選択科目を合わせて 30 単位以上の修得です。

論文研究は 10 単位です。論文指導を希望する分野と担当教員を選んでいただきます。共通選択科目の中からコースごとに指定する科目を含め 2 単位以上を取得する必要があります。

また，領域別の専門科目から，看護学コースの学生は 8 単位以上，放射線技術科学コース及び検査技術科学コースの学生は 10 単位以上修得する必要があります。

(1) 看護学コース

① 一般コース

コースの特色

一般コースでは基礎･健康開発看護学領域と家族支援看護学領域の 2 領域からなり，看護アセスメント学，看護管理学，老年・在宅看護学，公衆衛生看護学，成人看護学，がん看護学，緩和ケア看護学，小児看護学，精神看護学，ウィメンズヘルス・周産期看護学の 10 の分野に分かれています。基礎・健康開発看護学領域は，看護技術の開発及び評価，人々の健康や自立支援に必要な理論構築，看護教育・管理，看護倫理，個人・集団及びコミュニティの健康開発を研究，教育する領域です。家族支援看護学領域は家族という単位を看護の対象としてとらえ，その対象特性やライフイベントを基盤に家族機能の維持向上を目指す支援方法の研究，教育を行う領域です。詳細な分野の研究はウェブサイトなど参照ください。看護師免許を有し，専門看護師を目指す学生に対して，がん看護，小児看護，精神看護の教育カリキュラムを用意しています。

授業の内容

看護学研究方法論，看護科学論，医療倫理学，看護倫理，医療・看護政策論，医療教育論，看護学研究のための統計学，医学統計学などの講義・演習等

修了後の進路

・医学系研究科博士課程後期 3 年の課程または他専攻，他大学博士課程への進学
・大学教員
・保健師・助産師・看護師として大学病院，公立病院など
・地方公共団体など

① 保健師養成コース

コースの特色

保健師養成コースでは，実践力と研究力を兼ね備えた保健師を養成しています。高度専門職業人としての保健師の養成を目指し，保健師免許取得とリカレント（保健師免許保有者向）の 2 つの教育カリキュラムを設けています。公衆衛生看護の実践を担う保健師には，個人変容と社会変容を同時に促進する専門知識と技術が求められます。目の前の問題に対処するだけではなく，健康の社会文化的要因との関係性を解明し，生活者である住民のケアを通じて，地域の資源を開発し，住民と共に地域全体の課題解決力を高める総合的な資質と能力が必要です。公衆衛生看護学分野と地域ケアシステム看護学分野の詳細な研究内容はウェブサイトなど参照ください。

授業の内容

公衆衛生看護学，地域ケアシステム看護学，疫学，保健統計学，公共哲学，実習（行政・学校・産業），課題研究など

修了後の進路

・保健師として地方公共団体（保健医療福祉行政機関）
・医学系研究科博士課程後期 3 年の課程への進学など

(2) 放射線技術科学コース

① 一般コース

コースの特色

放射線技術科学コースは医用情報技術科学領域と生体応用技術科学領域の 2 領域からなり，医用物理学，画像情報学，医用画像工学，画像診断学，画像解析学，放射線検査学，放射線治療学の 7 つの分野に分かれています。医用情報技術科学領域は，画像診断装置，治療装置やその応用技術の開発に必要な基礎･応用研究と教育を行う領域です。生体応用技術科学領域は，各種臨床画像診断に用いられる幅広い診断技術学研究，機能診断としての核医学技術学研究，放射線診断･治療における品質管理･保証の研究，放射線治療計画システムの医学物理，腫瘍学，放射線生物学に関する研究と教育を行う領域です。詳細な分野の研究内容はウェブサイトなど参照ください。

授業の内容

共通選択科目では，先端放射線科学概論の他，がん科学，災害医学概論，医学統計学など，医学，保健学の幅広い専門知識を学びます。専門科目では，医用情報技術学ならびに生体応用技術科学領域の最先端研究内容を主体的な発表を通して学ぶ医用情報学セミナー，生体応用科学セミナーの他，さらに専門的な医用物理学特論，画像情報学特論，医用画像工学特論，画像診断学特論，画像解析学特論，放射線検査学特論，放射線治療学特論に加え，より臨床的な画像診断技術トレーニング，放射線検査学トレーニングなども履修できます。論文研究では，担当教員より研究指導を受けて修士学位論文としてまとめ，専門的な研究能力を身につけます。

修了後の進路

・医学系研究科博士課程後期 3 年の課程または他専攻，他大学博士課程への進学
・放射線技術科学分野の大学教員，研究者
・診療放射線技師として大学病院，公立病院など
・技術系職種として地方公共団体，製薬会社など

② 医学物理士養成コース

コースの特色

普及の進む高精度放射線治療では、医学物理士等、精度管理を専任で行う常勤の担当者が必要とされており、本コースでは、放射線治療施設で放射線治療装置ならびに放射線治療の適切な精度管理ができる医学物理士の養成を行います。また、放射線治療に関する医学物理についての研究、学会活動、論文報告

等も行う能力を身に付けられる人材を養成します。本コースでは、医学部保健学科放射線技術科学専攻及び理工学部卒業者を対象に，系統講義履修に加え，実習コースも併せて履修することで，研究，後進の教育の素養を持ち，がん診療に携わる他職種，他専門領域とのチーム医療が実践できる医学物理士の養成を目標としています。

授業の内容

保健学科出身者には理工系の科目履修，理工系学科出身者には医学・保健学系の科目履修が必須となります。修了時には両系出身者が同等の内容を修められる科目群となっています。

修了後の進路

・医学物理士として大学病院，公立病院など
・大学教員
・医学系研究科博士課程（医学履修課程，後期 3 年の課程）または他専攻への進学

＊本コースは、現在申請中の文部科学省大学教育再生戦略推進費次世代のがんプロフェッショナル養成プランに対応したコースとなっており、開始は令和 6 年度からとなります。

(3) 検査技術科学コース

コースの特色

検査技術科学コースは基礎検査医科学領域と臨床検査医科学領域の 2 領域からなり，分子機能解析学，感染分子病態解析学，内分泌応用医科学，病理検査学，臨床生理検査学，分子血液学，分子内分泌学の 7 つの分野に分かれています。基礎検査医科学領域は，分子生物学，分子遺伝学，分析化学，感染免疫学，内分泌代謝学領域の基礎研究，及び基礎研究を重視した応用研究等，検査医科学の基礎となる研究･教育を行う領域です。臨床検査医科学領域は，病理検査学，臨床生理学，病態検査学等，より臨床に即した領域において特に臨床応用を目指した展開研究と教育を行う領域です。分野の詳細な研究内容はウェブサイトなど参照ください。

授業の内容

研究能力，専門知識習得のための各分野のセミナーⅠ，Ⅱ，特論と実験手技習得のための各実験トレーニングからなる。すなわち，分子機能解析学セミナーⅠ，Ⅱ，特論，ゲノム医科学・分子生物学実験トレーニング，感染分子病態解析学セミナーⅠ，Ⅱ，特論，感染実験トレーニング，内分泌応用医科学セミナーⅠ，Ⅱ，特論，ペプチド内分泌実験トレーニング，病理検査学セミナーⅠ，Ⅱ，特論，病理診断学トレーニング，臨床生理検査学セミナーⅠ，Ⅱ，特論，分子血液学セミナーⅠ，Ⅱ，特論，臨床検査学トレーニング，分子内分泌学セミナーⅠ，Ⅱ，特論，臨床検査学トレーニング，医学論文読解演習 A，B など。

修了後の進路

・医学系研究科博士課程後期 3 年の課程または他専攻，他大学博士課程への進学
・大学教員
・臨床検査技師等として大学病院，公立病院など
・技術系職種として地方公共団体，製薬会社など

Ⅳ　公衆衛生学専攻修士課程の紹介

専攻の特色

健康課題は多様化・複雑化し，ゲノム科学は急速な進歩を遂げています。一方で高度な臨床研究を推進する人材は不足しています。このような状況で，社会環境の視点から個人の健康問題を把握してその解決にあたるスキルと，個人と社会におけるより良い健康に実現しようとする使命感－公衆衛生の素養―を持つ人材の養成が喫緊の課題となっています。公衆衛生学専攻では，世界最高基準の公衆衛生学の教育研究拠点を形成し，日

本及び世界の人々の健康及び福祉の増進への貢献を目指しています。公衆衛生の素養と高度な専門性及び高い職業倫理観を有する研究者をはじめ，指導者及び実践者の育成，特に公衆衛生学における最先端の融合的研究者の養成を目的としています。

公衆衛生学専攻は，情報健康医学と公共健康医学の 2 講座を置き，専任 8 分野と複数の協力分野を配置しています。情報健康医学は，公衆衛生学，医学統計学，医学情報学，遺伝医療学の専任 4 分野と災害公衆衛生学（災害科学国際研究所），個別化予防・疫学の協力 2 分野で構成されます。また，公共健康医学は，医療管理学，環境医学，法医学，医療倫理学の専任 4 分野で構成され，29 年度からは災害科学国際研究所から新たに災害医療国際協力学分野と災害精神医学分野が新たに協力分野となりました。

本専攻では下記に述べる 7 つのコースが目指す人材の育成にあたります。公衆衛生学に関連する分野を統合して講義・演習を実施し，協力分野と連携して幅広い分野で高度な専門性を追求します。更に被災地，大学病院，東北メディカル・メガバンク機構での実践的な教育も提供し，29 年度からはヒューマンセキュリティ国際教育コースとも相互の講義乗り入れを行っています。

公衆衛生学専攻修士課程を修了した際には，国内外の保健医療行政や臨床研究の分野で活躍するために必要な MPH(Master of Public Health)の学位が授与されます。

本専攻では独自のホームページ（http://www.sph.med.tohoku.ac.jp/）を開設しているので，詳細はそちらも参考にしてください。

(1) 一般コース

コースの特色

本専攻の基本となるコースです。入学者は，本専攻 8 分野または遺伝子診療支援・遺伝カウンセリング分野を除いた協力分野のいずれかに所属します。その上で，疫学・医療統計学及び医療倫理学などの「公衆衛生の素養」に関わる必修科目を履修し，さらに所属分野に関連するカリキュラムを中心に修学します。

授業の内容

必修科目として疫学研究デザイン入門，医療倫理学Ⅰ，社会医学演習，医学統計学入門，行動医学入門，医療管理学，環境医学があり，その他に複数の選択科目を履修します。その上で論文研究として修士論文を作成します。

修了後の主な進路

・研究教育機関（本専攻 13 分野に関わる研究者），製薬企業など，シンクタンク等への就職
・医療行政，国際保健機関
・医学系研究科博士課程（医学履修課程）への進学

(2) 高度臨床研究支援・管理者育成コース

コースの特色

医薬品・医療機器の製造販売に関して医薬品医療機器等法上の承認を得るために行われる臨床試験（いわゆる治験）のみならず，近年施行された「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って実施される治験以外の研究者主導の臨床研究における基盤整備の必要性はさらに高まっていますが，未だ不十分であり，特にこれらを支える人材の育成は急務となっています。本コースでは，医学統計学分野を中心に，病院臨床研究推進センター（CRIETO），TAMRIC，病院，臨床各科などが連携して，臨床研究を支える専門職である臨床研究コーディネーター (CRC)，データマネージャー，リサーチアドミニストレーター，プロジェクトマネージャー，薬事専門家，医療情報専門家などの育成を行い，系統的な講義のみならず，講義で学んだ内容を生かせるように早い段階から実習（研修）を取り入れています。個人の専門性を生かしつつ，他職種とコミュニケートできる臨床研究支援・管理者の育成を目標とします。

入学者は原則として医学統計学分野に所属し，臨床研究推進センターなどでの実習を含めた実践的な教育を受けることになります。

授業の内容

必修科目として疫学研究デザイン入門，医療倫理学Ⅰ，医学統計学入門，行動医学入門，医療管理学，環境医学があります。さらに必修の臨床研究実習Ⅰにて計画あるいは実施中の臨床研究に参加し，計画

書や調査票などの作成や実際のデータ管理，統計パッケージを用いたデータ解析を実習します。その他に複数の選択科目を履修します。

修了後の進路

・研究教育機関（本専攻 13 分野に関わる研究者），製薬企業など・シンクタンク等への就職
・高度臨床研究支援者（リサーチアドミニストレーター，データマネージャー，臨床研究コーディネーター等）
・医学系研究科博士課程（医学履修課程）への進学

(3) 臨床研究管理医養成 1 年コース

コースの特色

医師・歯科医師を対象に，臨床研究を主導できるスキルを身に付けさせることを目的として，1 年間のコースを提供します。入学者は原則として医療管理学分野に所属するとともに，希望する臨床分野の指導のもとで臨床研究のプロトコールを作成します。

わが国では臨床研究を主導できる医師が不足しているという問題が深刻になっているため，臨床研修を終えた医師・歯科医師に対象を特化して，臨床研究を主導できるスキルを身に付けさせることを目的に，1 年で修士号を取得するコースを設置しました。

本コースでは，単に臨床研究に精通した医師・歯科医師を養成するだけではなく，臨床研究のシステム管理（研究デザインの作成，研究組織のマネジメントとコミュニケーション，データの収集管理と制度管理，研究成果の社会還元・コミュニケーションなど）についても精通させることを目指しています。

本コースを修了した後は，医科学専攻博士課程の臨床分野に進学し，臨床研究を行うことを想定しています。

授業の内容

必修科目として疫学研究デザイン入門，医療倫理学Ⅰ，医学統計学入門，行動医学入門，医療管理学，環境医学，臨床研究概論，医学データ解析入門，臨床研究プロトコール講義・演習があります。さらに必修の臨床研究実習Ⅱで大学病院の臨床研究推進センターまたは希望する臨床科で臨床研究の実務を実習します。その他に複数の選択科目を履修します。そのうえで，博士課程進学後に実施することとなる臨床研究プロトコールを作成し，もって課題研究とします。

修了後の進路

・医学系研究科博士課程（医学履修課程）への進学，または医療機関に就職して，臨床研究を実施する。

(4) 公衆衛生・遺伝カウンセリングコース

コースの特色

認定遺伝カウンセラーを養成するための教育コースです。入学者は原則として遺伝医療学分野に所属し，遺伝医学や遺伝カウンセリングに関連した学会認定カリキュラムを履修するとともに，公衆衛生に関する幅広い知識を身に付けることが求められます。

すべての医療にゲノムの情報を用いた遺伝学的検査による診断や治療が応用される時代を迎えたことから，必要に応じて適切な時期に遺伝カウンセリングを提供することが求められています。さらに東北メディカル・メガバンク機構において開始されたゲノム・コホート研究によって実現される次世代の個別化予防と個別化医療においては遺伝カウンセリング体制の整備が必須となっており，これらの背景から，本コースは，遺伝カウンセリングの専門的な担当者として，チームの一員として協働できる高度医療専門職としての認定遺伝カウンセラー（日本人類遺伝学会，日本遺伝カウンセリング学会による共同学会認定資格）の養成を目的に医科学修士課程に平成 25 年 4 月に設置されました。本コースは我が国で 10 番目の専門養成課程として開講し，東北地方では初めての開設となります。

教育は，医学系研究科の各分野，東北大学病院，東北メディカル・メガバンク機構，他の研究科などと連携して，認定遺伝カウンセラー制度委員会（日本人類遺伝学会，日本遺伝カウンセリング学会）の必要カリキュラムに沿って行われます。平成 27 年度からは，公衆衛生学専攻の所属となり，社会や公共への視点も有しながら幅広く活躍の出来る専門職の養成を開始しました。

修了後は，認定遺伝カウンセラー認定試験を受けて認定遺伝カウンセラーの資格を取得，本学や東北地方の各大学・医療機関，東北メディカル・メガバンク機構において，認定遺伝カウンセラーとして患者やクライエントに寄り添いながら遺伝カウンセリングを提供することが期待されます。また，GMRC（ゲノムメディカルリサーチコーディネイター）や CRC（臨床研究支援者）らと協働してゲノム研究プロジェクトに参加，さらには，東北地方の地域の保健センターや遺伝子検査会社等での遺伝情報のコミュニケーションの専門家として社会に貢献も可能です。新しい専門職の養成コースであるので，意欲と使命感にあふれる方を求めています。

授業の内容

公衆衛生学専攻に準備された社会医学系の充実のカリキュラムの受講が可能です。基礎人類遺伝学やゲノム医学など最新のゲノム研究に関わる講師陣による最先端の講義や，遺伝カウンセリング演習や遺伝カウンセリング実践論など徹底的なロールプレイを行いながら，遺伝カウンセリングについて理論から実践まで学びます。また，早期から遺伝子診療部主催の症例検討会やセミナーに参加し，難病キャンプでのボランティア，家族支援団体への参加を行い，生活者の視点から遺伝性疾患について学びます。

修了後の進路

・大学病院，こども病院，国立病院機構，がん専門病院，産科クリニックなどの医療機関への就職
・遺伝学的検査を扱う企業，また製薬企業への就職
・研究教育機関（本専攻 13 分野に関わる研究者）への就職
・医学系研究科博士課程（医学履修課程）への進学

(5) 医療・公衆衛生倫理指導者養成コース

コースの特色

診療，公衆衛生，及び医学系研究の現場において，生命医療倫理領域の支援及び教育に携わる指導者を養成するためのコースです。大学院レベルの生命医療倫理及び公衆衛生倫理の修得を望む学部卒業生者，医療専門職及び医療，公衆衛生，医学系研究に直接・間接的に関わる社会人で，将来職場で生命医療倫理領域の支援，研究倫理審査または教育を担うことが期待されている人材を対象とします。入学者は医療倫理学分野に所属し，生命医療倫理に関連する哲学的基礎，歴史，主要問題の学習，教育ワークショップ実施，倫理審査参加，倫理コンサルテーション実践を含めた幅広い教育を受けます。

授業の内容

研究倫理実践論（複数の研究倫理委員会陪席を含む集中的な研究倫理授業），臨床倫理演習（事例検討等，各種取り入れた臨床倫理実践授業，倫理コンサルテーションを含む），倫理学・生命倫理学概論，（一般的な倫理学入門及び生命倫理学の哲学的基礎を学ぶ），記述倫理・実証研究入門（生命医療倫理領域の実証研究方法論を学び，当該領域の最新研究論文に触れる），公衆衛生倫理概論，及び医療人文学を中心にした医療倫理学 II をコース必修として学びます。同時に必須及び選択科目を通して公衆衛生学及び社会医学の基本についても学びます。

修了後の進路

・医学系研究科博士課程（医学履修課程）への進学
・研究教育機関への就職
・臨床倫理委員会，研究倫理委員会等の委員
・医療機関，研究機関における生命医療倫理教育者

(6) 災害保健医療マネジメントコース

コースの特色

様々な災害において，急性期から慢性期までのあらゆるフェーズにおいて専門性の高い医療が求められています。本コースでは，看護師，薬剤師，その他の医療職（医療関連行政職，病院職員など）の資格あるいは従事経験のある者を対象として，実効的医療対応をチームの一員として活躍できるだけでな

く，災害科学や医学の視点から災害に科学的に対応できる人材を養成します。そして，コース修了時には，慢性期の医療保健対応や災害復興フェーズの事象をテーマとして，自身の専門性に応じた公衆衛生学の研究を企画発案できることを目標とします。

授業の内容

公衆衛生学の必修科目に加えて，災害保健医療セミナー，災害保健医療トレーニング及び災害科学概論論を必修科目として，災害医療全般にわたる座学講義と実習を履修します。

修了後の進路

・修了者の専門性（看護師，薬剤師など）に応じたキャリアップ
・医学系研究科博士課程（医学履修課程）への進学，または医療機関に就職して，臨床研究を実施する。

（7）ヒューマンセキュリティ国際教育コース（英語による履修コース）

コースの特色

1990 年代初頭に冷戦が終結して以降，従来の「国家安全保障」の考え方に代わって，疾病，災害，貧困，紛争など人々の安全への脅威に対する取組みを重視する「ヒューマンセキュリティ」（人間の安全保障）の考え方が，新しい国際社会を構築するキー概念として注目されるようになりました。とりわけアジア地域をはじめとする開発途上国の国々では，貧困，災害，劣悪な環境衛生と栄養障害などを背景に，今なおたくさんの人々が，本来死ななくてすむはずの傷病によって生命と尊厳を脅かされています。また，感染症や環境汚染は国境を越えて人々の暮らしと安全を脅すようになりました。21 世紀の国際社会が直面するこれらインセキュリティの実体はきわめて複合的な要因によってもたらされており，従来の専門知の壁を超えた複合的な視点で問題解決に向けた取り組みを推進できる新しいリーダーを必要としています。

公衆衛生学専攻修士課程「ヒューマンセキュリティ国際教育コース（ヒューマンセキュリティと健康）」では，医科学と国際保健学の最新知見に人文・社会科学の方法論を統合することによって，人々の命と健康を脅かしている要因の構造を理解し解決する能力を育て，日本と国際社会において政策や地域社会のリーダーとしてヒューマンセキュリティの実現に貢献できる専門的職業人と研究者の育成をめざします。

同コースは，「ヒューマンセキュリティ連携国際教育プログラム」の枠組みに沿って農学研究科，環境科学研究科，国際文化研究科が英語で提供する共通科目を履修でき，また必修科目はすべて英語で履修します。

授業の内容

連携する 4 研究科合同で提供する「ヒューマンセキュリティ演習 A・B」の必修科目の他に，感染症疫学，巨大災害に対する健康と社会のレジリエンス，ヒューマンセキュリティとグローバルヘルスといった必修科目を提供します。全ての授業を英語で実施し，英語のみで修了単位を修得できるカリキュラム構成となっています。

修了後の進路

・医学系研究科博士課程（医学履修課程）への進学
・各国の国際保健医療行政担当者
・WHO 等の国際保健医療機関